

『寿きずなの森で森林整備体験をしてみませんか。』事業

取り組みに至る背景・事業の目的

寿地区共有林（250ha）の存在と手入れ不足の現状について多くの住民に知ってもらい、地区住民の協力を得ながら山の手入れを進めていくことを目的として、ボランティア団体「寿さと山くらぶ」が発足した。

これまで地域住民、小中学生による手入れを6年間にわたり実施してきたが、地形的に切り捨て間伐の方法しかない中、もっと間伐材を有効利用したいという希望があり、簡易木材搬出機を使用して材を引き出し、山林内の拠点地に設置した簡易製材機により、橋や小屋、机、ベンチなど木工製品の材料を製材したいと考えた。

事業内容

- 地域住民や小中学校等の林業学習体験において、簡易木材搬出機を利用して搬出した間伐材を用いて、ベンチ等の木工製品を作成し、それを学校や地域で使用するにより森林整備や里山の重要性について啓発を行った。
- 地域の小中学校3校の生徒を対象に6回、また地域住民を対象に4回の作業を実施し、延べ500人の参加があった。



事業効果

子供から大人までが協働で作業を実施することにより、手入れの遅れた地区有林の整備と地域の活性化が図られた。

- ・ 搬出したカラマツの間伐材は、作業小屋、橋、机、ベンチに加工して活用している。
- ・ これまでの活動で、約3haの間伐が実施できた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

現地が急斜面のため、作業に慣れていない地元住民や小中学校生が従事する場合に、上下の作業にならないように、また、材に手足など挟まないようになど、安全面での配慮が必要であった。そのため少数で班をつくり、指導できるスタッフが付いて安全を確認しながら作業をした。

今後の課題として、地元住民の参加をもっと増やしたいと思うが、山での作業となるとなかなか参加者が集まらないのが現状である。

何か楽しい行事と組み合わせをして日程を考えるなどの工夫が必要である。

【選定のポイント】

多くの児童、生徒、地域住民に里山学習の場を提供し、森林整備の必要性の普及を図った。

団体名	寿さと山くらぶ（松本市）	事業タイプ	ハード事業
連絡先	鈴木喜一郎 0263-57-540	事業費	220,000円
		支援金額	146,000円